

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2012年2月)

発表日2012年3月29日(木)

～1-3月期の個人消費は高い伸びになる可能性大～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主席エコノミスト 新家 義貴
TEL : 03-5221-4528

(単位: %)

		商業販売額						卸売業					小売業			コンビニ販売額	
		卸売業		小売業		大型小売店		百貨店		スーパー	前年比	既存店前年比					
		前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店前年比	既存店前年比							
11	1月	3.3	4.0	4.6	3.7	0.1	3.6	1.5	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 0.5	7.1	4.5				
	2月	5.3	0.8	7.2	1.1	0.1	2.1	3.2	0.5	0.6	0.5	8.5	5.9				
	3月	▲ 1.3	▲ 9.3	1.2	▲ 9.1	▲ 8.3	▲ 8.1	▲ 4.5	▲ 7.4	▲ 15.0	▲ 2.9	9.1	7.2				
	4月	▲ 2.6	3.6	▲ 1.7	3.1	▲ 4.8	3.6	1.1	▲ 1.9	▲ 1.8	▲ 1.9	3.0	1.0				
	5月	1.3	0.7	2.3	0.0	▲ 1.3	2.9	0.8	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 2.4	7.3	5.1				
	6月	3.1	1.4	3.8	1.3	1.2	2.5	2.5	▲ 0.5	0.1	▲ 0.8	10.9	8.3				
	7月	2.3	▲ 0.2	3.0	▲ 0.2	0.6	▲ 1.2	1.8	0.8	▲ 0.4	1.5	11.4	8.9				
	8月	3.1	▲ 0.9	5.2	▲ 0.6	▲ 2.6	▲ 0.7	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 2.1	▲ 2.9	9.1	6.6				
	9月	0.3	▲ 1.5	0.8	▲ 1.9	▲ 1.1	▲ 1.3	▲ 2.4	▲ 3.6	▲ 2.8	▲ 4.0	▲ 1.8	▲ 4.1				
	10月	1.1	0.7	0.8	0.4	1.9	0.7	▲ 0.5	▲ 1.4	▲ 0.8	▲ 1.7	16.4	13.5				
	11月	▲ 2.3	▲ 0.9	▲ 2.4	▲ 0.5	▲ 2.2	▲ 1.3	▲ 1.6	▲ 2.5	▲ 2.2	▲ 2.7	10.5	7.3				
	12月	▲ 0.8	1.8	▲ 2.0	1.7	2.5	0.7	0.6	▲ 0.3	0.7	▲ 0.9	7.4	4.0				
12	1月	▲ 2.0	2.1	▲ 3.5	1.2	1.8	3.1	▲ 0.1	▲ 1.2	▲ 1.2	▲ 1.2	4.9	1.6				
	2月	▲ 0.1	1.3	▲ 1.3	2.1	3.5	2.0	1.2	0.2	▲ 0.5	0.5	8.8	4.4				

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

○ 前月比で3ヶ月連続の増加

経済産業省から本日公表された2月の小売業販売額は前年比+3.5%となり、市場予想(+1.4%、弊社予想:+2.8%)を大きく上回った。2月がうるう年であり、昨年よりも日数が多いことが前年比で高い伸びになった一因ではあるが、季節調整済みの前月比でも+2.0%と、1月の同+3.1%に続いて高い伸びであり、うるう年要因を除いた実勢としても強い結果であると判断される(小売業販売額の季節調整では、うるう年要因は調整されている)。

前月比で見ると、1月に前月比+11.7%と急増していた自動車小売業こそ、反動から同▲0.7%と微減となったが、その他の業態は軒並みプラスであり、全般的に2月は消費の回復が窺える結果となっている。食品価格や燃料価格の上昇により押し上げられている点を割り引いても良好な内容と言えるだろう。

この結果、1-2月平均の小売業販売額の水準は、10-12月期を4.2%上回っている。10-12月期はテレビ販売の激減により前期比▲1.0%にとどまっていたが、1-3月期は一転して高い伸びになるだろう。エコカー補助金復活等により自動車販売が急増していること、ペントアップディマンドの存在、気温低下による冬物衣料販売増、テレビ販売の減少に歯止めがかかったことなどが影響している模様だ。加えて、本統計には含まれないサービス消費も比較的底堅く推移していること、GDP統計の季節調整ではうるう年要因が調整されないこと、なども考慮すると、1-3月期のGDPベースの個人消費は高い伸びになる可能性が高そうだ。

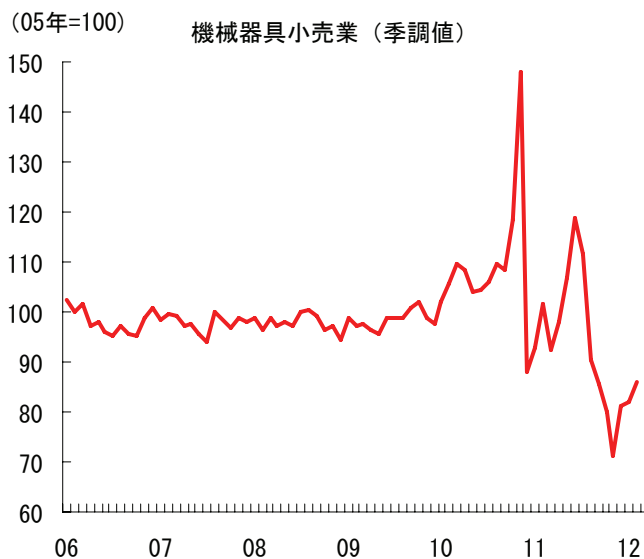
○ 業種別の動向

自動車小売業は前月比▲0.4%と小幅減となった。だがこれは1月に同+11.7%と急増した反動であり、1-2月平均では10-12月期を11.1%上回る。自動車販売の増加が1-3月期の個人消費の押し上げ要因にな

っている。

その他の業態は軒並み前月比でプラスである。百貨店等が含まれる各種商品小売業は前月比+2.0%（1月：+0.4%）、織物・衣服・身の回り品が同+2.4%（1月：+0.5%）と、ともに3ヶ月連続で増加した。気温の低下により冬物衣料販売が好調だったことが影響したのだろう。そのほか、機械器具小売業も前月比+5.3%と3ヶ月連続で増加している。水準は依然かなり低いが、下げ止まりが確認できる。また、燃料小売業は燃料価格上昇の影響から増加している。

なお、東北地方の大型小売店販売は前年比+5.3%（既存店）と10ヶ月連続で増加しており、全国平均（同+0.2%）と比べて高い伸びが続いている。



(出所) 経済産業省「商業販売統計」